

「この人 43」

## 小林英昭 69歳 三重県

編集部 俳句を始められたのは？

小林 約十年くらい前からです。もともと読むのが好きでしたが、定年の少し前から俳句と川柳を始めました。新聞やテレビ番組に投句しまして、いわゆる投句マニアです。投句して選ばれるスリルといますか、一人で作って終わりではつまらないですから。とにかく、たくさん作るんです。毎日平均、二十句は作りますね。多い時は、五十句くらい作ります。寝る前か目が覚めてすぐにメモをとるんです。寒い時季には、蒲団の中から手だけを出して書きます。

編集部 一句詠むのでさえ大変な人も多いですが。

小林 詠むことには苦勞しませんね。良い句を選ぶこと、絞り込んでいくことの方が難しいです。

編集部 たくさん作るコツをお教えてください。

小林 最初から、きちんと五七五で作ろうとしないことです。一句の中で言いたいことをメモしておくのです。新聞や雑誌などで見つけた面白い言葉でもいいです。それから、言葉を組み立てて俳句に仕上げていくのです。滑稽俳句も、最初からしかめ面して滑稽句にしようとしません。

### 【代表句】

レガッタの先端風の尻つつく  
水ものと知らず金魚に手をだしぬ  
炎帝の崩御をつげる夜の風  
障子にもそれさうおうの口止料  
白鳥のごつた返してゐる楽屋